

【プログラムの進め方】

(1) はじめに 【2分】

●あいさつ、ねぎらい、自己紹介

(例) 皆さん、こんにちは。本日はお忙しいなか、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の進行役をつとめます◇◇と申します。どうぞよろしくお願ひします。

●プログラムの趣旨を説明

(例) 本日のプログラムでは、『天理時報』の記事を読んで、心が少しでも晴れ晴れしていただけたらと思います。また、読んだ感想を、班の中で述べあうことで、信仰的な「気づき」を得てもらえたらと思います。

(2) 『天理時報』の記事を読み、ふりかえりシートに記入 【6分】

※『天理時報』の記事が載った資料と、ふりかえりシートを配る。

(例) それでは、さっそく、お配りした資料に載っている『天理時報』の記事をお読みください。そして、読んで思ったことや感じたことを、ふりかえりシートの設問の順番にそつて、記入してください。

(3) ふりかえりシートをもとに、ふりかえる 【人数×9分】

●設問1について

(例) それでは、ふりかえりシートの設問にそつて、ふりかえりを行いたいと思います。設問1について記入されたことをもとに、お話をしてください。

※以下、参加者を順番にあてていく。参加者の話す時間が同じくらいになるよう留意する。

※「シートに記入した内容であっても、話したくないことは話さなくてもよい」「ほかの参加者の発表を聞いて思ったこと・感じたことをつけ加えてもよい」「ここで話したことは、ほかでは話さない」を伝える。

●設問2について

(例) それでは、次の設問にうつります。……以下同様。

※時間があれば、『天理時報』の別の記事で(2)→(3)を実施してください。

(4) まとめ 【3分】

●読んで、ふりかえったことについて

(例) 本日は、いろいろとお話していただき、誠にありがとうございました。『天理時報』の記事をあらためて読んで、心が少し晴れ晴れしたかと思ひます。また、こうして、読んだ感想を述べあうことで、教えに関するさまざまな気づきがあったかと思ひます。

●ねぎらい、案内

(例) 本日は、これでプログラムを終えますが、このような機会を日ごろから持てたらと思ひますので、『天理時報』や「天理時報オンライン」をご活用いただけたらと思ひます。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございました。